

児童ら「ものづくり」の楽しさ学ぶ



手作りの竹の水鉄砲で遊ぶ児童

美濃山小学校で10月15日「第10回美濃山小学校ふれあいフェスタ」が行われ、大勢の児童らが「万華鏡作り」などの体験やスポーツを楽しみました。

万華鏡や水鉄砲づくりなど満喫

美濃山小学校が主催。今年度は、児童らの夢を持ってもらおうと、ものづくりを体験するコーナーを多く設けました。

まず、体育館で行われたのはじめの集いで、児童の登下校の見守り活動などを続ける美濃山防犯パトロール隊の皆さんに、感謝状や記念品が贈られました。

その後児童らは、校内などに設けられたイベントを満喫。模様やイラストがデザインされた紙ナフキンを固形せっけんなどに特殊な形で貼り付け、デコパージュ石鹸作りや、同隊員の指導で、美濃山産の竹を使った「水鉄砲づくり」など10個のイベントを体験しました。どの教室も、楽しそうに創作などに取り組む児童らの笑顔であふれていました。



「デコパージュ石鹸作り」を楽しむ児童ら

収穫に感謝 ずいきみこし巡行

“子天狗、の「王の舞」など奉納

収穫に感謝し、五穀豊穡を祈願する「ずいきみこし」の巡行が10月9日、上奈良地区で行われました。

みこしは、地元の老人会「御園クラブ」のメンバーが製作。木組みのみこしにズイキで屋根をふき、トウガラシやイモなどの野菜などで飾り付けました。

この日は、みこしを担いだ法被姿の担ぎ手たちが地区内を巡行した後、高張り提灯を先頭に御旅所から御園神社まで練り歩きました。

境内に到着後、氏子らが「いっぺん笑えー」などの掛け声で「ワハハハ」と三唱。さらに、手に檜製の棒を持ち、天狗の面を付けた子どもによる「王の舞」と、若者二人による獅子舞の奉納行事が営まれました。

最後に神社の改修工事完成を祝して、地元の法典流練心塾山城支部のメンバーが、気迫あふれる古武道を披露。一つひとつの行事が終わるたびに、見物客らからの大きな拍手が秋空に響いていました。



御園神社の参道を練り歩く担ぎ手

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や広報誌についての意見を、秘書広報課までお寄せください。



パン食い競争に挑む参加者

スポーツ通じ交流深める

第33回八幡市障がい者スポーツ大会

スポーツを通じて多くの市民と交流を深めようと「第33回八幡市障がい者スポーツ大会」が10月15日、八幡市民体育館で開催されました。

同大会は市と市教委の主催で、市内のボランティア団体などに協力を呼びかけて行われました。

同大会では、パン食い競争や綱引き、お尻で風船を割る「ケツアツ競争」など、参加者全員が気軽に参加できる種目の競技で行われました。参加者は周囲の声援を受け、

て、はつらつとしたプレーを見せていました。

昼食をはさみ、午後からも水上で行うカーリングからピントを得て考案された「カローリング」や「マクダーツ」といった、障がいのある人でも楽しめるユニースポーツに挑戦するなど、スポーツの秋を満喫していました。

選手宣誓をした井上彰人さん(15)は「宣誓は緊張しましたが、ちゃんと出来ました。玉入れが一番楽しかったです」と話していました。

南八幡高出身

早狩選手 くすのき小で陸上教室

南八幡高校(現・京都八幡高校)出身で今年の韓国・大邱の世界陸上に出場した早狩実紀選手(京都光華AC)による陸上教室が10月7日、くすのき小学校で行われ、同小の6年生89人が参加しました。

この取り組みは、市教委の「楽しい学校づくり支援事業」の一環で、同小が「スポーツ選手活用体力向上事業」として行ったものです。

体育館で行われた授業では、出場した世界陸上や海外での高地トレーニングの様子を映像で

紹介。足が速くなる方法として「速く走る選手などの手や足の動かし方をまねてみると、コツがつかめてくると思います」と話しました。

その後グラウンドで、早狩選手が6人1組に分かれた児童と1,800mのリレー対決。児童は、トップアスリートのスピードに何とかついていこうと、必死の形相で走っていました。

同小6年の藤田直斗くん(11)は「早狩選手はとても速かった。早狩選手のように歩幅を大きくしたら速く走れそう」と話していました。



児童とリレーで競走する早狩選手(右)